任を持って少人数学級を進めるべきである。

議案第80号

反　対

【日本共産党】

安倍政権で2度目の消費税増税が強行された。新型コロナ、台風災害も重なり市民生活の困難さは明らか。困窮者向けのプレミアム付商品券は大幅に使い残した。消費税は今すぐ引き下げるべき。生活保護基準も引き下げられ多くの制度に影響した。オリンピックに合わせ身の丈を超えた駅周辺整備を進めた結果、公債費が増え財政を圧迫している。子育て重視の一方、高齢化への対応は不十分。教育分野では教員の充実が必要。災害対応で公的な責任を担う行政の力が再評価されている。直面する困難に全部署が真剣に議論を始めるべき。

賛　成

【自由民主党】

令和元年度は、東日本台風、コロナ対策等により9回の補正予算が組まれた。歳入のうち自主財源である市税が増額し、歳入比率6割を占め、安定的財源確保とし評価する。複数年に及ぶ継続事業等は、年次ごとの事業進捗管理に努められたい。

川越駅西口市有地利活用事業は順調に推移し、鴨田ふれあい農園整備は、体験農園拡張工事を実施。民間保育所の新設等に補助金が交付され、入所定員が増加した。南古谷保育園の耐震工事も完了。東清掃センターの大規模改修が着手され施設延命化が図られる。市内2番目のエリアでデマンド型交通の運行が開始された。小中学校へのタブレット端末導入と校内LAN環境の整備が完了した。川合市長のリーダーシップと職員の尽力を高く評価する。

市政に関する一般質問

今定例会では、26名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針等について質問をし、必要に応じて市に対し意見や施策の提案をします。

質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載しています。

会派名　議員氏名

一般質問の表題

質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者

※（答弁の要約）

※ 印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

自由民主党　須賀昭夫　1

川越らしさの維持と継続

問 江戸風情が残る町並みや江戸の影響を受けた職人文化・食文化など「川越らしさ」を維持・継続していくための市の考えは。

答 産業観光部長　川越らしさを象徴する町並み、景観などの保存はもちろん、伝統的な文化や習慣など世代を超えて継続していけるよう、まちづくりや教育などさまざまな方面からの取り組みが必要と考えている。職人文化や食文化等を味わうことができる体験提供などが川越らしさの維持・継続につながり、また、市民とも川越らしさを共有し、理解を深めていくことで、それぞれの分野における川越らしさの維持・継続が図られると考える。

質問 コロナと観光・商業

自由民主党　村山博紀　2

SDGsに即した総合戦略

問 財源を拘束する大規模施設整備の在り方を見直し、総合政策の一環で危機管理体制強化に向けた柔軟な市政運営へのシフトチェンジの意志を伺う。

答 市長　4つの川越づくりの視点で、本市をめぐる社会情勢等を踏まえ、時宜に応じて必要な施策に重点を置きながら市政運営に努めてきた。予測の難しい事象に対処しつつ、新たな社会ニーズに迅速かつ的確に対応できる、柔軟性を持った市政運営に努める必要があると考えている。厳しい財政状況を鑑み、将来世代への過度な負担を避けるとともに、市民の安全・安心な暮らしを支えるためにも、十分な配慮の上に市政運営に努めていく。

質問 SDGsと総合戦略

質問 新河岸駅周辺の課題

自由民主党　牛窪喜史　3

高齢者が元気に過ごすため

問 高齢者の生きがいの中で読書が良いと言われるが、図書館で文字が読みにくい高齢者へどのような読書サービスを行っているのか。

答 教育総務部長　図書館では、図書の他、多くの新聞や雑誌をそろえている。また、時季に合った図書の特集展示などを行うなど、高齢者にさまざまな分野の図書に興味を持ってもらうような企画もある。文字が読みにくい利用者のために、ルーペや拡大読書器を用意している他、普通の本よりも文字が大きくて見やすい大活字本やCDなどの朗読資料の貸し出しといった読書サービスも行っている。

質問 高齢者が元気に過ごす

質問 子供たちの将来に向け